



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 日本化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4092 URL <https://www.nippon-chem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棚橋 洋太  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 熊田 雄司 TEL 03-3636-8038  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,653	1.3	992	△57.1	1,123	△51.6	735	△63.7
2022年3月期第2四半期	19,397	20.4	2,312	153.0	2,322	150.9	2,025	211.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 240百万円 (△89.0%) 2022年3月期第2四半期 2,183百万円 (93.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	83.47	—
2022年3月期第2四半期	230.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	68,883	41,688	60.5
2022年3月期	70,431	41,867	59.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 41,688百万円 2022年3月期 41,867百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	50.00	85.00
2023年3月期	—	35.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.9	2,100	△46.4	2,200	△43.1	1,400	△62.5	159.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	8,922,775株	2022年3月期	8,922,775株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	110,155株	2022年3月期	121,086株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	8,806,374株	2022年3月期2Q	8,798,319株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策やワクチン接種普及等により一時持ち直しの動きが見られたものの、原燃料価格の高騰や急激な円安の進行、地政学的リスクの長期化等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、今年度よりスタートした新中期経営計画に掲げる成長戦略の推進と成果の実現に向け、「成長事業の拡大」、「グローバル化の推進」、「経営基盤の強化」という3つの重点施策に全社一丸となって取り組んでまいりました。

当期においては、原燃料価格の高騰を受け、販売価格の改定を行ってまいりましたが、足元の原燃料高の影響が一層顕著になったことに加え、一部製品の需要減少が利益を圧迫しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196億5千3百万円（前年同期比2億5千5百万円増）となり、経常利益は11億2千3百万円（同11億9千8百万円減）となりました。

この経常利益に、投資有価証券売却益2千2百万円の特別利益を加え、固定資産除却損6千3百万円の特別損失及び法人税等5千7百万円を差引き、更に法人税等調整額2億8千9百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億3千5百万円（同12億9千万円減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### ①化学品事業

化学品事業では、クロム製品は耐火物向けが大幅に落ち込んだものの、めっき向けが堅調に推移し、また、原燃料高を起因とする販売価格の改定により、売上高は大きく増加しました。シリカ製品は全体的に堅調に推移し、また、原燃料高を起因とする販売価格の改定により、売上高は大きく増加しました。燐製品は半導体向けが低調に推移したものの、一般工業向けが堅調に推移し、また、原燃料高を起因とする販売価格の改定により、売上高は大きく増加しました。この結果、化学品事業の売上高は、105億1千7百万円（同32億6百万円増）となりました。

#### ②機能品事業

機能品事業では、ホスフィン誘導体は量子ドット向けが好調に推移したものの、海外向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。農薬は主要顧客向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。電池材料は低調に推移したことにより、売上高は減少しました。電子セラミック材料は自動車向けや通信向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。回路材料は接着剤向けが大幅に伸びたことにより、売上高は増加しました。高純度電子材料は半導体向けが大幅に伸びたものの、一部製品が大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。この結果、機能品事業の売上高は、82億7千8百万円（同10億1千万円減）となりました。

#### ③賃貸事業

賃貸事業は、堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。この結果、賃貸事業の売上高は、4億5千7百万円（同0百万円増）となりました。

#### ④その他

書店事業は、低調に推移したことにより、売上高は大きく減少しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は、4億円（同1千4百万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億4千7百万円減少し、純資産は1億7千8百万円減少しております。その結果、自己資本比率は59.4%から60.5%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が30億5千8百万円減少し、売掛金が7億1千3百万円増加し、仕掛品が8億6千4百万円増加し、原材料及び貯蔵品が6億3千1百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が3億1百万円減少し、無形固定資産が1千6百万円減少し、投資有価証券が7億1千9百万円減少し、投資その他の資産の退職給付に係る資産が4千9百万円増加しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が3億2千4百万円増加し、短期借入金が1億2千4百万円減少し、未払法人税等が2億5千万円減少し、設備関係未払金が6千9百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が12億1千6百万円減少し、繰延税金負債が4千6百万円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が2億8千9百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が5億7百万円減少しております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、3千1百万円の支出（前年同期は12億1千7百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益10億8千2百万円に対し、減価償却費15億9千5百万円の他、貸倒引当金の減少額4億7千7百万円、売上債権の増加額5億9千8百万円、棚卸資産の増加額19億6千万円、仕入債務の増加額2億2千1百万円等、営業取引に係る資産負債の増減額を加減したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資による支出があり、13億2百万円の支出（前年同期は5億8千2百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払等により、17億8千3百万円の支出（前年同期は13億7千8百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ30億5千8百万円減少し、59億4千3百万円となりました。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローと配当金を減算したフリーキャッシュ・フローは、17億7千2百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,012	5,953
受取手形	756	652
売掛金	10,239	10,952
商品及び製品	3,946	4,440
仕掛品	3,098	3,962
原材料及び貯蔵品	2,758	3,389
未収消費税等	171	—
その他	1,226	831
貸倒引当金	△491	△14
流動資産合計	30,718	30,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,764	37,024
減価償却累計額	△23,224	△23,672
建物及び構築物(純額)	13,539	13,351
機械装置及び運搬具	15,492	18,254
減価償却累計額	△8,261	△9,847
機械装置及び運搬具(純額)	7,231	8,407
土地	7,466	7,466
建設仮勘定	2,772	1,485
その他	6,415	6,511
減価償却累計額	△5,561	△5,659
その他(純額)	854	852
有形固定資産合計	31,864	31,562
無形固定資産		
その他	448	432
無形固定資産合計	448	432
投資その他の資産		
投資有価証券	6,385	5,665
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	92	97
退職給付に係る資産	580	630
その他	362	346
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	7,399	6,718
固定資産合計	39,712	38,713
資産合計	70,431	68,883

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,390	3,715
短期借入金	8,886	8,761
未払法人税等	297	46
未払消費税等	20	40
賞与引当金	472	420
設備関係未払金	1,580	1,510
その他	3,058	3,042
流動負債合計	17,706	17,537
固定負債		
長期借入金	7,033	5,817
繰延税金負債	610	656
退職給付に係る負債	1,093	1,088
その他	2,118	2,095
固定負債合計	10,857	9,657
負債合計	28,563	27,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,270	2,267
利益剰余金	30,809	31,098
自己株式	△337	△307
株主資本合計	38,499	38,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,035	2,528
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	24	93
退職給付に係る調整累計額	307	251
その他の包括利益累計額合計	3,368	2,873
純資産合計	41,867	41,688
負債純資産合計	70,431	68,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,397	19,653
売上原価	14,360	16,133
売上総利益	5,037	3,519
販売費及び一般管理費	2,724	2,526
営業利益	2,312	992
営業外収益		
受取利息及び配当金	67	79
持分法による投資利益	—	33
為替差益	—	61
その他	61	62
営業外収益合計	129	236
営業外費用		
支払利息	41	41
持分法による投資損失	8	—
その他	69	64
営業外費用合計	119	105
経常利益	2,322	1,123
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22
関係会社株式売却益	552	—
特別利益合計	552	22
特別損失		
固定資産除却損	45	63
特別損失合計	45	63
税金等調整前四半期純利益	2,829	1,082
法人税、住民税及び事業税	744	57
法人税等調整額	59	289
法人税等合計	803	346
四半期純利益	2,025	735
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,025	735

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,025	735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	321	△507
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	19	68
退職給付に係る調整額	△182	△55
その他の包括利益合計	157	△494
四半期包括利益	2,183	240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,183	240

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,829	1,082
減価償却費	1,510	1,595
のれん償却額	7	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	134	△477
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40	△52
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20	△5
受取利息及び受取配当金	△67	△79
持分法による投資損益 (△は益)	8	△33
支払利息	41	41
為替差損益 (△は益)	0	△13
関係会社株式売却損益 (△は益)	△552	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△22
固定資産除却損	45	63
売上債権の増減額 (△は増加)	△343	△598
棚卸資産の増減額 (△は増加)	458	△1,960
仕入債務の増減額 (△は減少)	△858	221
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△581	191
その他	△356	260
小計	2,337	213
利息及び配当金の受取額	68	79
利息の支払額	△41	△41
法人税等の支払額	△1,154	△283
法人税等の還付額	7	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,217</b>	<b>△31</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,670	△1,314
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△23	△27
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却による収入	—	46
貸付けによる支出	△136	△0
貸付金の回収による収入	7	52
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,227	—
その他	178	△58
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>582</b>	<b>△1,302</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70	—
長期借入れによる収入	800	—
長期借入金の返済による支出	△1,939	△1,341
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△2
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△306	△438
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,378</b>	<b>△1,783</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	58
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	432	△3,058
現金及び現金同等物の期首残高	9,962	9,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,395	5,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	空調関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,310	9,288	457	1,926	18,982	414	19,397	—	19,397
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2	109	10	1	124	143	268	△268	—
計	7,313	9,397	467	1,928	19,107	558	19,666	△268	19,397
セグメント利益	565	1,196	266	258	2,286	20	2,306	5	2,312

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,517	8,278	457	19,252	400	19,653	—	19,653
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	114	10	125	136	261	△261	—
計	10,517	8,392	468	19,377	537	19,914	△261	19,653
セグメント利益又は 損失(△)	781	△74	268	975	26	1,002	△9	992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

〔「空調関連事業」区分の廃止〕

前連結会計年度において、空調関連事業を行ってございました日本ピュアテック株式会社の全株式を譲渡し、同社及び同社の子会社のロックゲート株式会社を連結の範囲から除外したため、第1四半期連結会計期間より空調関連事業を報告セグメントから廃止しております。